

第2弾

ご安心ください!! あなたの年金は大丈夫です!!

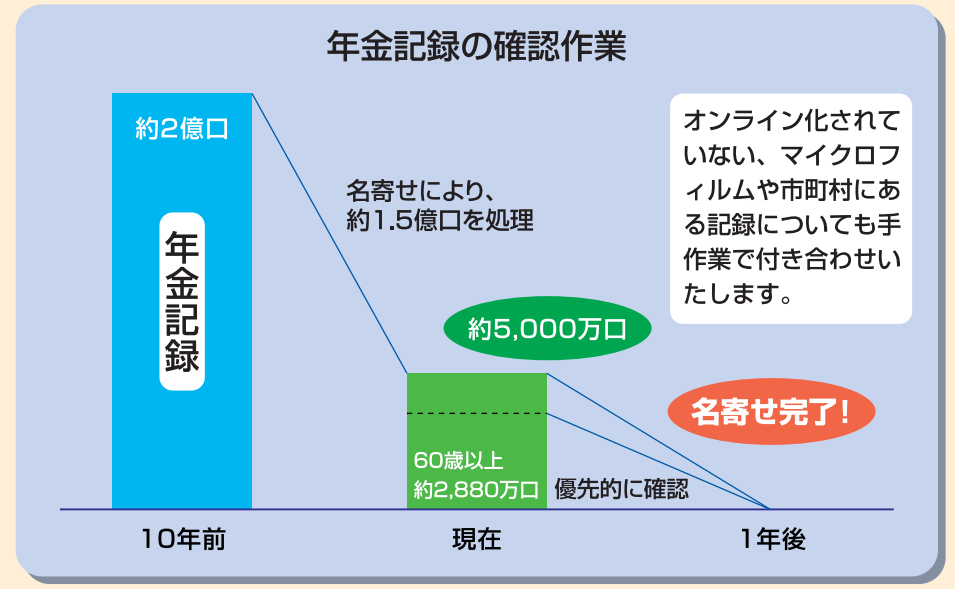
自民党は全国民が本来受け取ることができる年金を全額受け取れることをお約束します!

10年前には3億口の年金記録が存在

平成9年から基礎年金番号が導入され、年金記録を1人1口とする作業に入りました。その際、基礎年金番号導入以前に就職や転職、結婚による改姓などにより、1人が数口の年金記録を保有していたため、約3億口の年金記録が存在することになりました。この約3億口の年金記録のうち、約1億口は基礎年金番号が付され、その後、残り約2億口のうち約1億5,000万口も基礎年金番号に名寄せした結果、現在は約5,000万口の未確認の年金記録が残っています。

この5,000万口は消えたのではありません。

基礎年金番号への統合が済んでいない件数なのです。政府・与党は今後1年間で全ての統合を完了させます。



これで大丈夫! ポイント ①

今後1年間で、この未確認の年金記録5,000万口すべての名寄せを完了させます。

政府が徹底したチェックを期限を切って実施すると同時に、気になる方、心当たりのある方にも、相談窓口を拡充し誠心誠意対応します。

- 社会保険事務所窓口で土・日を含め相談に応じます。
- 市町村にも全国2万人の社会保険労務士の協力を得て臨時窓口を増設します。
- 24時間無料相談・フリーダイヤル (☎ 0120・657・830) を設置しました。

これで大丈夫! ポイント ②

もし、年金の“未払い”が判明した場合は、時効によって過去5年分しか受け取れなかったものを全額受給できるようにします(与党提案による法律改正)。

これで大丈夫! ポイント ③

過去の保険料の領収書などの証明書等がない方についても、銀行通帳の出金記録、元雇用主の証言等を根拠として第三者委員会で判断してもらうなど、国民の立場に立って積極的に年金受給権を認めます。

この10年間、共産党を除き大半の議員が政権に関与してきました。今回の年金記録問題は与野党の政争の具にすべきものではなく、われわれ国会議員が共同責任で解決すべき緊急課題です。一刻も早い問題の解決に向け、無責任な批判だけの民主党に対し、自民党は具体的対応をスタートしています。



年金記録と社会保険庁改革

完全支払いと抜本改革の与党か 支払い先延ばし・問題先送りの野党か

問題点

①導入時の問題点 計画なき施策の実施

- ・基礎年金番号の導入時、基礎年金番号への統合を、何年で完了するかの計画もなく、その後作業進捗状況のフォローもなし
- ・実際に積極的に名寄せの対象にしたのは、1800万人分のみ

②組織の問題点 組合に支配されたやる気のない、業務効率の極めて低い社会保険庁

- ・10年かかっても名寄せが終わらず
- ・102件にのぼる労使覚書を結んで非効率な作業体制を温存
- ・オンライン化にも積極的に対応せず

③意識・対応の問題点 加入者の立場に立ったサービス精神ゼロ

- ・年金記録の統合や加入者からの相談も全て待ちの仕事
- ・形式主義、書面主義の後向きの裁定

政府・与党案

今後1年で問題解決・全額支払い

- ・今後1年で未確認の年金記録5000万口の名寄せを全て完了
- ・年金の“未払い”が判明した場合、与党の法律改正で5年以上前までさかのぼって全額支払い

社会保険庁解体

- ・今回の法改正で現状の社保庁を解体 小さな組織へ6分割
- ・新たな組織は“非公務員”型
- ・現在の職員は一旦退職、やる気があり、まじめに仕事をする人だけを再雇用

相談窓口の充実、積極的対応

- ・相談窓口の体制を充実し、電話でも24時間フリーダイヤル相談
- ・各市町村でも相談窓口を設置
- ・記録や領収書がなくても、事実関係に基づき積極的に年金受給権を認める

野党・民主党案

期間の明示なく、支払いも一部

- ・批判はするが、解決の期間を明示せずに問題を先送りも
- ・法改正は行わないため“未払い”分が5年以上前の年金は本人に支払われず

社会保険庁温存

- ・国税庁との統合により組織はやけ太り
- ・職員は“公務員”の身分のまま
- ・やる気があってもなくても今の職場にそのまま残れる

明確な対応策なし

- ・「消えた年金5000万口」等とオーバーな表現で国民の不安をあおるのみ
- ・明確な対応策がなく、現状の待ちの仕事、形式主義がそのまま続く恐れ